

御幸地区まちづくり計画書

平成30年4月21日

はじめに

御幸地区は、1981年にコミュニティが誕生し、地域住民の親睦、交流を中心に活動してきた。2016年4月より御幸地区まちづくり協議会として新たに出発した。

2016年末に御幸地区住民アンケートを実施した結果、住民は「安全安心なまち」「生活環境の良いまち」を望んでいるとの結果を得た。また、現在、亀山駅前周辺再開発が進行しており数年後には街の形態は大きく変化することが予想される。

これらのことを踏まえ、どのようなまちづくりを進めていくのが住民にとって幸せなのかを住民とともに考える指針として「御幸地区まちづくり計画書」を策定した。

I 御幸地区の概要

(1) 地域の特徴

当地区の中心にはJR亀山駅が、また、東西に旧国道1号が縦断しており、その沿道にはショッピングセンターをはじめ、飲食店舗、金融機関、文化会館が存しており、他の地域に比べて利便性が高い。

そうした中、アパートやマンションへの新しい住民の流入が増加しているものの、その多くは自治会に加入されていないため、既存の住民との交流が希薄になっている。

また、一方で少子高齢化に伴い、古くから住んでいた家屋が空家になるケースが目立つようになり、新旧住民におけるそれぞれの課題が浮かび上がってきている。

さらに、当地域には一級河川の鈴鹿川やそこに流れ込む竜川があって自然環境も豊かではあるが、過去に幾度か氾濫し水害の被害に見舞われていることから、利便性とは裏腹に災害への危険性も見逃せないところである。

(2) 人口の推移

平成29年度推計によると、人口782人(世帯数382)、そのうち65歳以上の高齢者は177人(約23%)、14歳以下の子どもは102人(約13%)、まち協加入世帯数は175世帯(46%)である。

この地域では極端な人口減少は見られないが、核家族化に伴う高齢者世帯や一人暮らし世帯が増えてきている。また、成人した子供たちは、勤務地の都合で地元を引き続き生活する人が少ない。そのため、今後人口が増加する見通しは少ない。

(3) まち協の組織

御幸まち協は7自治会で構成され、役員、自治会長、各自治会推薦幹事、市等関係委員、福祉委員、民生委員児童委員が選出されている。6部会、1委員会、6各種団体を組織し、事業を推進している。

II まち協活動の現状と課題

(1) 住民の意識

まち協に加入している世帯は御幸地区全体の約46%であり、そのうち行事、サロン等の活動への参加度は約60%である。会員の多くは、行事等に参加することで自身の健康や人との交流・ふれあいを求めている。また、人や地域社会への貢献で自己を高めたり、精神的な満足感を得たりというボランティアを重視される方もいる。

一方、アパート・マンションに住むほとんどの住民は、自治会、まち協に加入しておらず、当地区の総人口の約半数を占めている。加入しない主な理由は、アパート・マンションオーナーの考え方が大きい。自治会やまち協に参加しなくても利便性の高い当地域では生活上あまり困ることがないという住民意識があるからである。今後は人と人のつながりや助け合いの気持ちを求めていく必要がある。

(2) 活動状況

広報情報部、教育文化部、福祉環境部、レクリエーション体育部、青少年育成部、自主防災部の6つの部会と福祉委員会、各種団体等を中心に親睦交流行事、高齢者見守り訪問、自主防災活動、広報活動、子ども見守り活動、サロン活動等を通して会員へのサービス活動を実施している。

また、自治会長や民生委員による地域活動や見守り活動を日常的に実施している。

行事の参加者は、高齢者が多く、ほとんどが同じ顔ぶれであるため、親睦は深まるが交流の範囲が狭い。また、若い年齢層や子どもの参加が少ないため、三世代交流行事の工夫改善を進めている。

(3) 課題の対応

住民アンケートの意見や部会、検討委員会等の様々な会議で指摘されていた課題について次のような取り組みを行っている。

- ・三世代が交流できる行事を継続して取り組む。
- ・高齢者の居場所であるサロン活動を充実させる。
- ・子どもや若い世代が集える場づくりを通して、まち協活動を担う後継者を育成する。
- ・自治会に加入していない住民に対しまち協活動への参加を働きかける。
- ・災害等に対応できる自主防災組織の確立を図る。
- ・歩道、公園、公共施設等の環境美化に努める。

Ⅲ 御幸地区の将来像

「将来の御幸地区のあるべき姿」についてアンケートの結果、主なものは次の通りである。

- ・災害に強く犯罪や事故のない安全なまち
- ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち
- ・道路、公共交通の利便性のあるまち

このことを踏まえ、基本理念を次のように設定した。

基本理念「生活環境が良く、安全安心して暮らせるまち」

Ⅳ まちづくりの基本目標

子どもや孫たちに自信をもって定住を進められるまちづくりをするために下記の4つの基本目標を設定した

- (1) みんなで協働し、安全に暮らせるまちづくり
- (2) みんなで支えあい、安心して暮らせるまちづくり
- (3) みんなで交流し、健康で楽しく暮らせるまちづくり
- (4) みんなで築く、美しいまちづくり